

# 底デカラ

産業資源循環の

—vol1—

坪井金属有限公司

## 非鉄金属の

プロ集団としての誇りを持って

産業廃棄物リサイクルに挑む

代表取締役  
坪井 孝憲さん

### 高い志を持ち 業界の社会的地位向上に挑む 「坪井金属」

金属スクラップはもちろん産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）にも対応。現代の最重要テーマである“循環型社会の実現”に向けて、安全で地球に優しいリサイクルシステムを手掛ける。

# 非鉄金属を中心に マテリアルリサイクルを実現

1966年（昭和41年）に金属原料の卸売業として名古屋市で産声を上げ、1977年（昭和52年）に小牧市に事業所を開設し、非鉄金属を中心に金属スクラップを回収・加工、産業廃棄物の収集運搬・中間処理などを手掛ける「坪井金属有限会社」。工場や建設現場、物流施設、オフィスなどあらゆる場所が回収先であり、創業から培ってきた非鉄金属（銅・真鍮・アルミ・レアメタルなど）の知識を活かし、素材ごとに徹底的に分別。各精錬メーカーにてマテリアルリサイクルを実現しています。産業廃棄物も東海地区を中心に引き取りしています。現在は収集運搬車両15台を保有し、ヒアブ、クレーン、ウイング車、パッカー車など顧客の要望に合わせた様々なタイプのトラックが活躍中です。



「リサイクルステーション小牧」では、様々な産業廃棄物の中間処理を行っている



手作業にて廃電線を銅と被覆に分離しリサイクルを行う（上）／分析機器を使用している様子（下）



愛知産業資源循環協会に所属する会員企業を訪問し、そのこだわりや強みを取材させていただく企画です。会員企業の独創的でユニークな発想や考え方、業界を盛り上げようとする姿勢に迫りながら、愛知県における経済活動のアンカーマンとしての役割を担う産業廃棄物処理業の社会的地位向上を目指し、その必要性をより広くの方に知っていただければと思います。

産業資源循環の  
**底デカラ**  
とは？





様々な非鉄金属の性質や扱い方について説明する坪井社長



様々な非鉄金属のサンプルを手に取りながらの勉強会を実施



破碎、粉碎、選別、乾燥の4ユニットで構成される「廃電線処理プラント」

## 機械の導入により、回収量と品質を向上させ 環境負荷低減や国内の資源循環にも貢献

事業の柱となっている「金属リサイクルセンター」では、手作業にて廃電線をアリゲーターシャーリングにて切断し、剥離機によって銅と被覆（ひふく）に分離、それぞれ銅はピカ線、被覆はプラスチック原料としてリサイクルを行います。手作業で処理しきれない廃電線は、数年前に導入した、破碎、粉碎、選別、乾燥の4ユニットで構成される「廃電線処理プラント」により分別されます。従来よりも処理能力を約3倍に拡大させるととも

に、銅の回収量と品質も大幅に向上し、環境負荷低減や国内の資源循環にも貢献しています。生産性の向上、高純度の銅として精錬所へ販売し、リサイクル率向上に伴う廃棄物処理費用の削減やCO<sub>2</sub>削減など環境負荷低減にも寄与し、ミスカットの除去が可能な装置の導入は、当業界では、愛知県初となっています。





## 処理困難物にも対応し、 リサイクルで産業廃棄物に新しい価値を生む

顧客からの「金属以外もまとめて回収して欲しい」という要望を受けて立ち上がった「リサイクルステーション小牧」では、様々な産業廃棄物の収集運搬、中間処理を行っている。回収した廃棄物はかさばる物は圧縮、粉砕し減容させたり、資源としてマテリアルリサイクルできるものは分別し廃棄物から新たな価値を生み出しています。

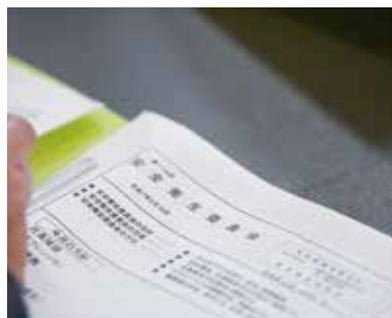
他にも、業務用冷蔵庫・冷凍庫、業務用エアコン、コンプレッサーなどに使用されているフロンガスを回収したり、最大40tまでのトラックスケールにて計測が可能な「計量証明事業」なども行っています。



### 安全衛生情報 ABOUT ヒヤリハット

**月1回「安全衛生委員会」を開催。  
「安全行動宣言」は自身の評価だけでなく、  
周囲からの客観的な目線でも振り返りを実施。**

毎日実施される点呼では、業務連絡だけでなく、安全の確認や事故の事例なども共有され、「不安全行動」の無いように再確認が行われている。月1回開催される「安全衛生委員会」では、「安全行動宣言」を本人はもちろん、周囲からも客観的に評価してもらい振り返りを行うこと、さらに他人事にならないよう持ち回りでリーダーを選定し、社内の危険な箇所を各自で発見し発表するなど、安全への意識を高める様々な取組を行っています。





## 非鉄金属に対する 高い知識を持つことで、 高価格で買い取ることができ 信頼関係を構築

定期的に分析機器を使用した実践的な勉強会を行うなど、従業員を非鉄金属のプロに育てるための教育プログラム、また売り先となる精錬所との繋がりの強化を図りながら、自社の強みをさらに磨きつつ、幅広い金属を引取りできるようにすることで、顧客との信頼関係を築いています。

「引き取ったモノを適正処理するのは当然ですが、非鉄金属は高価で買取し、様々な廃棄物でも処理できることがお客様からの信頼に繋がっていると思います。“地球に優しいこと”が世界的に求められる中、循環型社会の一躍を当社が担えることはないか?と探していく中で、どこまでリサイクルできるのか?ということが社会に還元できることだと思いますので、常にチャレンジしています。そのためにリサイクルできるルートを広げる努力をしています」と水野清高 専務。さらなるチャレンジを進める中で、現在試験中の取組としては、リチウムやニッケルという貴重な資源を再活用する「充電式電池のリサイクル」と、使用済みの廃電線被覆に新しい価値を生み出すべく、厚みや強度の試作を繰り返しながら、工業用のシート開発も行っています。

必ず自宅に帰る、  
何も起こらない毎日  
を  
当たり前  
に  
過  
ご  
す



## 100%リサイクルの大きな目標に チャレンジし続けるのが大きな役割

「脱炭素化の流れが強まる中、スクラップの銅の需要は確実に伸びていくため、積極的に国内資源循環を進め、プラスチック素材である被覆も含め、100%リサイクルを目標に、顧客の要望に対応できる施設を目指しています。限られた大切な資源を次の世代に引き継ぐことが大きな役割だと思っています」と坪井孝憲 社長は力強く答えてくれました。業界全体の未来や限りある資源のことを深く理解する同社、いち早く優良産廃処理業者認定を取得し業界を牽引している存在です。

## Message

### 業界の地位向上を目指す！ 仕事もプライベートも充実して はじめて会社でも活躍することができる

社会的に環境や資源に対する意識が高まっているが、まだまだ業界の社会的地位が低いと感じる。業界のイメージを変えるためにも、他業界と接する運転手が丁寧かつ安心してもらえる対応を常に心がけることはもちろん、従業員の協力と活躍が必要不可欠なため、安全はもちろん、働きやすい環境を整えることが会社側としてとして大切です。

そして、非鉄金属の知識においては顧客にも売り先の精錬所にも一目置かれる存在を目指さなければいけません。さらに、産業廃棄物においても困りことは坪井金属に相談すれば、なんでも解決してくれるありがたい存在になれるように常に情報に敏感である会社として来期の創業60周年に向けて日々精進しています。

代表取締役 坪井 孝憲さん



### 坪井金属株式会社

〒485-0826 愛知県小牧市大字東田中宇東嶋 2057 番 1  
TEL 0568-73-9141 / FAX 0568-73-9158  
<https://www.tsuboi-k.co.jp>



WEBSITE